

※ポリシーとの関連性 「社会人として自立するために必要な広範かつ基本的な知識・技能」を教授する。

[ /一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	キャリア入門	前期	火5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
		1年	講義全体の運営および試験関係は、村上研究室(5-629)、murakami@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 本講義は、大学生活とその先を考えるために設けられた。たとえば「学生として、今何をすれば良いか分からない」、「将来の進路に不安がある」、「大学生活はこんなはずではなかった」などと感じて日々を過ごしている学生も少なくないであろう。本講義のねらいは少しでもこうした不安を解消していくことをねらいとしている。	メッセージ 講義への個別質問は、講義計画末尾に記された専任教員の研究室へ 名嘉座研究室(13-215):nakaza@okiu.ac.jp 比嘉研究室(5-530):m.higa@okiu.ac.jp 島袋研究室(5-635):ituko@okiu.ac.jp 井村研究室(5-622):imura@okiu.ac.jp 藤波研究室(5-434):fujinami@okiu.ac.jp
	到達目標 1)卒業後の進路について主体的に考えることができる。 2)学生生活の経験を「有意義である」と説明できるようになる。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション(比嘉)	
	2	労働の実態(名嘉座)	公的機関の活用
3	卒業生の実態(比嘉)		キャリア支援課や校友会の活用
4	卒業生の紹介(比嘉)		キャリア支援課や校友会の活用
5	海外を知る1(村上)		インターンシップ説明会への参加
6	海外を知る2(村上)		インターンシップ説明会への参加
7	正規/非正規(島袋)		家族や知人との面談
8	キャリアとお金(島袋)		家族や知人との面談
9	ホワイトカラー/ブルーカラー(島袋)		家族や知人との面談
10	ブラック企業/ブラックバイトを知る(井村)		公的機関の活用
11	母校を知る(藤波)		本学「年史」の精読
12	社会人基礎力を知る(藤波)		模擬面接の実施
13	自分を知る(平山)		模擬面接の実施
14	キャリア支援課の利用方法(藤波)		キャリア支援課の活用
15	まとめより学びを深められる科目の説明(村上)		関連科目のシラバス確認/履修
16	期末試験(村上)		
	テキスト・参考文献・資料など 講義中に指示する。		
	学びの手立て ①履修の心構え 予習と復習に取り組む必要がある。 ②学びを深めるために ノートにメモをとるようになる。また、必要に応じてアカデミックアドバイザー、キャリア支援課そして学外機関を利用する。		
	評価 出席(25%) + 提出物(25%) + 試験(50%)で評価する。		

学びの継続	次のステージ・関連科目 ジョブインタビュー入門、文章表現入門、キャリア・デザインA、キャリア・デザインB、心理学I、心理学II、インターンシップ(各学科のみならず、学外の制度も含む)、正課外におけるキャリア支援課の利活用
-------	---

※ポリシーとの関連性 「社会人として自立するために必要な広範かつ基本的な知識・技能」を教授する。

[ /一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	キャリア入門	後期	火5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	村上 了太	1年	講義全体の運営および試験関係は、村上研究室(5-629)、murakami@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 本講義は、大学生活とその先を考えるために設けられた。たとえば「学生として、今何をすれば良いか分からない」、「将来の進路に不安がある」、「大学生活はこんなはずではなかった」などと感じて日々を過ごしている学生も少なくないであろう。本講義のねらいは少しでもこうした不安を解消していくことをねらいとしている。	メッセージ 講義への個別質問は、講義計画末尾に記された専任教員の研究室へ 名嘉座研究室(13-215):nakaza@okiu.ac.jp 比嘉研究室(5-530):m.higa@okiu.ac.jp 島袋研究室(5-635):ituko@okiu.ac.jp 井村研究室(5-622):imura@okiu.ac.jp 藤波研究室(5-434):fujinami@okiu.ac.jp
	到達目標 1)卒業後の進路について主体的に考えることができる。 2)学生生活の経験を「有意義である」と説明できるようになる。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション(比嘉)	
	2	労働の実態(名嘉座)	公的機関の利用
3	卒業生の実態(比嘉)		キャリア支援課や校友会の活用
4	卒業生の紹介(比嘉)		キャリア支援課や校友会の活用
5	海外を知る1(村上)		インターンシップ説明会への参加
6	海外を知る2(村上)		インターンシップ説明会への参加
7	正規/非正規(島袋)		家族や知人との面談
8	キャリアとお金(島袋)		家族や知人との面談
9	ホワイトカラー/ブルーカラー(島袋)		家族や知人との面談
10	ブラック企業/ブラックバイトを知る(井村)		公的機関の利用
11	母校を知る(藤波)		本学「年史」の精読
12	社会人基礎力を知る(藤波)		模擬面接の実施
13	自分を知る(泊)		模擬面接の実施
14	キャリア支援課の利用方法(藤波)		キャリア支援課の活用
15	まとめより学びを深められる科目の説明ー(村上)		関連科目のシラバス確認/履修
16	期末試験(村上)		
	テキスト・参考文献・資料など 講義中に指示する。		
	学びの手立て ①履修の心構え 予習と復習に取り組む必要がある。 ②学びを深めるために ノートにメモをとるようになる。また、必要に応じてアカデミックアドバイザー、キャリア支援課そして学外機関を利用する。		
	評価 出席(25%) + 提出物(25%) + 試験(50%)で評価する。		

学びの継続	次のステージ・関連科目 ジョブインタビュー入門、文章表現入門、キャリア・デザインA、キャリア・デザインB、心理学I、心理学II、インターンシップ(各学科のみならず、学外の制度も含む)、正課外におけるキャリア支援課の利活用
-------	---

※ポリシーとの関連性 「社会人として自立するために必要な広範かつ基本的な知識・技能」を教授する。

[ /一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	キャリア・デザインA	前期	月4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	村上 了太	3年	研究室(5629)、またはmurakami@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>本講義は、企業活動を通して「働く意味」を理解することが目的である。キャリア教育科目群における「キャリア・デザインA」では、1) 企業経営者とはどのような存在なのか、2) 日頃どのようなことを考えて行動しているのか、そして3) 企業は学生に何を求めているのか、などを外部講師によって講演頂くことにする。この講義を端緒にしてキャリア支援課の利活用を促す。</p>	<p>学生の遅刻、早退、居眠りそして私語が社会人の目にどのように映るかを考えて、受講してもらいたい。また講義中に、傾聴力や発信力を身に付けてもらいたい。</p>
到達目標	<p>1) ビジネスマナーを身につけることができる。 2) 正課外のキャリア(アルバイトや部活をはじめとした授業以外の体験すべて)に価値を見いだすことができる。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション(評価の方法、講義の進め方)	ビジネスマナーの習得、企業研究
	2	企業関係者とのQ&A①	ビジネスマナーの習得、企業研究
	3	企業関係者とのQ&A②	ビジネスマナーの習得、企業研究
	4	企業関係者とのQ&A③	ビジネスマナーの習得、企業研究
	5	企業関係者とのQ&A④	ビジネスマナーの習得、企業研究
	6	企業関係者とのQ&A⑤	ビジネスマナーの習得、企業研究
	7	企業関係者とのQ&A⑥	ビジネスマナーの習得、企業研究
8	中間試験+前半小括		
9	企業関係者とのQ&A⑦	ビジネスマナーの習得、企業研究	
10	企業関係者とのQ&A⑧	ビジネスマナーの習得、企業研究	
11	企業関係者とのQ&A⑨	ビジネスマナーの習得、企業研究	
12	企業関係者とのQ&A⑩	ビジネスマナーの習得、企業研究	
13	企業関係者とのQ&A⑪	ビジネスマナーの習得、企業研究	
14	企業関係者とのQ&A⑫	ビジネスマナーの習得、企業研究	
15	総括 -大学で学ぶ意義-		
16	期末試験		
テキスト・参考文献・資料など	講義中に指示する。		
学びの手立て	<p>①履修の心構え 予習と復習に取り組む必要がある。 ②学びを深めるために ノートにメモをとるようにする。また、必要に応じてアカデミックアドバイザーやキャリア支援課などを利用する。</p>		
評価	出席(20%)、提出物(30%)、試験(50%)で評価することを前提とする。なお、その他の評価方法は学則による。		

学びの継続	次のステージ・関連科目 キャリア・デザインB、正課外におけるキャリア支援課の利活用
-------	--

※ポリシーとの関連性 「社会人として自立するために必要な広範かつ基本的な知識・技能」を教授する。

[ /一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	キャリア・デザインB	後期	月4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	村上 了太	3年	研究室 (5629)、またはmurakami@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>本講義は、企業活動を通して「働く意味」を理解することが目的である。キャリア教育科目群における「キャリア・デザインB」では、1) 企業に対するイメージと現実のギャップ、2) 就職活動を通して先輩学生はどのような道を歩もうとしているのか、などを講義する。また後半は、自らのキャリア形成についてプレゼンする機会を設けることにする。</p>	<p>学生の遅刻、早退、居眠りそして私語が社会人の目にどのように映るかを考えて、受講してもらいたい。また講義中に、傾聴力や発信力を身に付けてもらいたい。</p>
到達目標	<p>1) ビジネスマナーを身につけることができる。 2) 正課外のキャリア(アルバイトや部活をはじめとした授業以外の体験すべて)に価値を見いだすことができる。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション (評価の方法、講義の進め方)	
	2	キャリア支援課の活用、グループ分け (自己紹介)、プレゼンスキルの解説	他己分析、パワーポイントの習熟
	3	企業関係者の講話①	企業研究
	4	企業関係者の講話②	企業研究
	5	企業関係者の講話③	企業研究
	6	企業関係者の講話④	企業研究
	7	企業関係者の講話⑤	企業研究
8	プレゼン準備 (講演内容の振り返り、グループ学習①)	パワーポイントの習熟、	
9	プレゼン準備 (講演内容の振り返り、グループ学習②)	パワーポイントの習熟	
10	プレゼン準備 (講演内容の振り返り、グループ学習③)	パワーポイントの習熟	
11	プレゼン模擬練習①	パワーポイントの習熟	
12	プレゼン模擬演習②	パワーポイントの習熟	
13	プレゼン実践①	パワーポイントの習熟	
14	プレゼン実践②	パワーポイントの習熟	
15	まとめ		
16	期末試験		
テキスト・参考文献・資料など	講義中に指示する。		
学びの手立て	<p>①履修の心構え 予習と復習に取り組む必要がある。 ②学びを深めるために ノートにメモをとるようにする。また、必要に応じてアカデミックアドバイザーやキャリア支援課などを利用する。</p>		
評価	出席 (20%)、提出物 (30%)、試験 (50%) で評価することを前提とする。なお、その他の評価方法は学則による。		

学びの継続	次のステージ・関連科目 就職や進学など、卒業後の進路を検討する。
-------	-------------------------------------

※ポリシーとの関連性 本講義は、本学に入学時から自分の卒業後の姿や就業観を育成するためにキャリア教育科目群の1つとして設置されている。

[ /一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	ジョブ・インタビュー入門	前期	水2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-松堂 美和子	2年	授業終了時に教室で受け付けます	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>”・企業訪問とプレゼンテーションを中心とする講義を通して「働く意味」を理解する。 ・自分の卒業後の姿や就業観を育成する。 ・「大学の学びを実社会でどう活かすか」を考えさせる。”</p>	<p>グループで企業訪問し、OB・OGへインタビューをする活動があるため、基本動作（報告・連絡・相談）の徹底が求められます。また、授業外での取り組みもあるため、グループ間で事前に連絡を取り合う等の協調性が問われます。一見、ボリュームのある講義ですが、自らの将来設計にきっと役立ちますので、特に“自分を変えたい”、“自分に自信をもちたい”と思っている学生を歓迎します。</p>
到達目標	<p>・OB・OG訪問を通して、「何かに気づき」「気づきを計画に変える」ことで目標に向けて第一歩を踏み出すことができる。 ・学生から社会へスムーズに移行するために、「今、何をすべきか」を明確にすることができる。 ・実際に活躍する先輩社員と接することで、理想とする社会人像を描くことができ、残りの学生生活を、目的意識をもって取り組むことができる。 ・学外の多くの「おとな」に触れるので、人と接することへの緊張感・抵抗感をコントロールする力が身につく。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	シラバスをよく読む
	2	「働くとは？」を考える	テーマに関連する文献の収集
	3	内的キャリアと外的キャリア	レジュメの作成
	4	取材力をUPさせるには	テーマに関連する文献の収集
	5	第1回 社会人インタビューのための事前準備	対象者にインタビューを実施
	6	グループ討論 社会人のキャリアを分析する①	文献の情報収集、レジュメの作成
	7	グループ討論 社会人のキャリアを分析する②	中間発表に向けて準備
8	中間発表	振り返り及びレジュメの作成	
9	第2回 社会人インタビューのための事前準備①	インタビューに向けて準備	
10	第2回 社会人インタビューのための事前準備②	グループ活動	
11	第2回 社会人インタビュー事前、事後の取り組み	グループ活動	
12	グループ議論 社会人のキャリアを分析する③	レジュメの作成	
13	プレゼンテーションに向けて事前準備	プレゼンテーションに向けて準備	
14	プレゼンテーション	キャリア支援課の利活用	
15	ポスターセッションに向けて事前準備	キャリア支援課の利活用	
16	ポスターセッション	ポスターセッションに向けて準備	
実践	テキスト・参考文献・資料など	<p>・テキスト：指定しない。プリントを配布する。</p>	
学びの手立て	履修の心構え	<p>・出欠確認を毎回厳格に行うので、やむを得ず欠席する場合は必ずメール等で連絡をすること。 ・企業訪問に向けて事前準備及び企業、メンバー同士の調整事項が多々あるため、自らの役割と責任をきちんと果たすこと。 ・企業訪問、ポスターセッション、指定の課外講座に参加すること（詳細はオリエンテーションで説明）</p>	
評価		<p>・平常点（30点）授業時間中の質問や発言、取り組みを評価する。 ・フィールドワーク（30点）与えられた課題への取り組み、提出状況の評価する。 ・中間報告及びポスターセッション、レポート（50点）单元ごとに課す課題の提出状況、到達度を評価する。</p>	

学びの継続	次のステージ・関連科目
	<p>・キャリア支援課を利活用し、学生生活における目標設定や卒業後の進路決定に向けて必要な知識等を習得する。</p> <p>・関連科目「キャリア入門」「文章表現入門」「キャリア・デザインA」「キャリア・デザインB」の履修を推奨する。</p>

※ポリシーとの関連性

本講義は、本学に入学時から自分の卒業後の姿や就業観を育成するためにキャリア教育科目群の1つとして設置されている。

[ /一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	ジョブ・インタビュー入門	後期	水2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-松堂 美和子	2年	授業終了時に教室で受け付けます	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業訪問とプレゼンテーションを中心とする講義を通して「働く意味」を理解する。</li> <li>自分の卒業後の姿や就業観を育成する。</li> <li>「大学の学びを実社会でどう活かすか」を考えさせる。</li> </ul>	<p>グループで企業訪問し、OB・OGへインタビューをする活動があるため、基本動作（報告・連絡・相談）の徹底が求められます。また、授業外での取り組みもあるため、グループ間で事前に連絡を取り合う等の協調性が問われます。一見、ボリュームのある講義ですが、自らの将来設計にきっと役立ちますので、特に“自分を変えたい”、“自分に自信をもちたい”と思っている学生を歓迎します。</p>
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>OB・OG訪問を通して、「何かに気づき」「気づきを計画に変える」ことで目標に向けて第一歩を踏み出すことができる。</li> <li>学生から社会へスムーズに移行するために、「今、何をすべきか」を明確にすることができる。</li> <li>実際に活躍する先輩社員と接することで、理想とする社会人像を描くことができ、残りの学生生活を、目的意識をもって取り組むことができる。</li> <li>学外の多くの「おとな」に触れるので、人と接することへの緊張感・抵抗感をコントロールする力が身につく。</li> </ul>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	シラバスをよく読む
	2	「働くとは？」を考える	テーマに関連する文献の収集
	3	内的キャリアと外的キャリア	レジュメの作成
	4	取材力をUPさせるには	テーマに関連する文献の収集
	5	第1回 社会人インタビューのための事前準備	対象者にインタビューを実施
	6	グループ討論 社会人のキャリアを分析する①	文献の情報収集、レジュメの作成
	7	グループ討論 社会人のキャリアを分析する②	中間発表に向けて準備
	8	中間発表	振り返り及びレジュメの作成
	9	第2回 社会人インタビューのための事前準備①	インタビューに向けて準備
	10	第2回 社会人インタビューのための事前準備②	グループ活動
	11	第2回 社会人インタビュー事前、事後の取り組み	グループ活動
	12	グループ議論 社会人のキャリアを分析する③	レジュメの作成
	13	プレゼンテーションに向けて事前準備	プレゼンテーションに向けて準備
14	プレゼンテーション	キャリア支援課の利活用	
15	ポスターセッションに向けて事前準備	キャリア支援課の利活用	
16	ポスターセッション	ポスターセッションに向けて準備	
実践	テキスト・参考文献・資料など	<ul style="list-style-type: none"> <li>テキスト：指定しない。プリントを配布する。</li> </ul>	
学びの手立て	履修の心構え	<ul style="list-style-type: none"> <li>出欠確認を毎回厳格に行うので、やむを得ず欠席する場合は必ずメール等で連絡をすること。</li> <li>企業訪問に向けて事前準備及び企業、メンバー同士の調整事項が多々あるため、自らの役割と責任をきちんと果たすこと。</li> <li>企業訪問、ポスターセッション、指定の課外講座に参加すること（詳細はオリエンテーションで説明）</li> </ul>	
評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>平常点（30点）授業時間中の質問や発言、取り組みを評価する。</li> <li>フィールドワーク（30点）与えられた課題への取り組み、提出状況の評価する。</li> <li>中間報告及びポスターセッション、レポート（50点）单元ごとに課す課題の提出状況、到達度を評価する。</li> </ul>	

学びの継続	次のステージ・関連科目
	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャリア支援課を利活用し、学生生活における目標設定や卒業後の進路決定に向けて必要な知識等を習得する。</li> <li>関連科目「キャリア入門」「文章表現入門」「キャリア・デザインA」「キャリア・デザインB」の履修を推奨する。</li> </ul>

科目基本情報	科目名 文章表現入門	期別	曜日・時限	単位
	担当者 -大田 よしみ	前期	水 3	2
		対象年次	授業に関する問い合わせ	
		2年	授業開始前・終了後に教室で受け付けます	

学びの準備	ねらい 大学生生活の充実や就職活動への活用等に位置づけられているキャリア科目群の1つである文章表現入門は、講義全体を通して「発信力」と「傾聴力」の向上を軸にコミュニケーション能力を身に付け、自らをプレゼンテーションする力の必要性を学んでいきます。また、社会に有用な学生の人材の育成もねらいとしています。	メッセージ 全講義において一方的なレクチャーではなく、ワークを通して将来必要となってくるコミュニケーション能力を次第に身に付けられたり、参加・体験することの楽しさを知り、行動することで学びや気づきを得ていきながら、自分の将来に向き合うことができます。また、受講メンバーと触れ合いながら、4か月の受講終了後には発信力や関係構築力も養われています。
	到達目標 文章表現入門ではキャリア科目の一講義として「働く意味」を理解することが目的である。 1. 自分の考えをプレゼンテーションできるスキルを習得する 2. ①自分はどういう人物なのか、②ビジネス文書と通常の文書の違いとは何か、③傾聴力と発信力とは何か、を理解する 3. 就職活動や社会において必要なコミュニケーション能力を習得する。 4. 社会が求める能力を理解し、大学生活における学内・学外の活動に繋げて人間力を高める 5. 面接の重要性と実践、自己PR実践など、就職活動において必須となる基盤づくりに取り組む。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		時間外学習の内容
	回	テーマ	
	1	オリエンテーション	講義で気づいた自己課題に取り組む
	2	就職活動の進め方	自分の就職希望先を調べる
	3	就職試験の概要	講義で気づいた自己課題に取り組む
	4	自分を知る①ー今の自分を知るー	同上
	5	自分を知る②ー他人から見た自分ー	同上
	6	自分を知る③ーこれからの自分について考えるー	同上
	7	ビジネス用語について	同上
	8	ビジネス文書の記述方法	ビジネス文書を作成 提出
	9	企業から学ぶ（企業が求める人材とは）	講義で気づいた自己課題に取り組む
	10	文章表現①（新聞記事を読み込んでレポート作成）	同上
	11	文章表現②（自己PRシートの作成）	自己PR文を作成
	12	自己PR実践①（模擬面接）	講義で気づいた自己課題に取り組む
	13	自己PR実践②（模擬面接）	同上
	14	自己PR実践③（模擬面接）	同上
15	総論（考察及びレポート提出）	同上	
16			

実践	テキスト・参考文献・資料など テキストはありません。講義内容に必要なワークシート等を当日配布予定。
----	--

学びの手立て	<ol style="list-style-type: none"> <li>全講義において座学はなく、すべてワーク形式となっています。参加・体験することで学びや気づきを得る内容となっています。</li> <li>ワーク形式のため、参加態度が大きく関わってきます。ただ黙って座っているだけでは参加していないこととなります。居眠り、私語、ワーク不参加、携帯電話の私的使用は減点対象となります。</li> <li>遅刻は減点対象となります。講義開始30分以上の遅刻、30分以上の早退は欠席となります。</li> <li>学則として欠席5回以上は評価対象外となります。欠席の場合は欠席届けを提出すること。</li> </ol>
--------	--

評価	参加型講義のため、講義内容の理解度や個人ワークやグループワーク等の参加度を評価対象とします。 ①理解度及び参加度・・・60% ②提出物（講義毎の振り返りレポート・課題、総論レポート等）の有無及び完成度・・・40% ＊参加型及び連続性のある講義のため、ワーク不参加、私語や居眠り、質疑応答の程度、遅刻等も減点対象となります。
----	---

学びの継続	次のステージ・関連科目 ・キャリア入門 ・ジョブインタビュー ・キャリアデザインA,B ・キャリア支援課が主催するセミナーやイベントに参加
-------	--

科目基本情報	科目名 文章表現入門	期別 後期	曜日・時限 水3	単位 2
	担当者 -大田 よしみ	対象年次 2年	授業に関する問い合わせ	
			授業開始前・終了後に教室で受け付けます	

学びの準備	ねらい 大学生生活の充実や就職活動への活用等に位置づけられているキャリア科目群の1つである文章表現入門は、講義全体を通して「発信力」と「傾聴力」の向上を軸にコミュニケーション能力を身に付け、自らをプレゼンテーションする力の必要性を学んでいきます。また、社会に有用な学生の人材の育成もねらいとしています。	メッセージ 全講義において一方的なレクチャーではなく、ワークを通して将来必要となってくるコミュニケーション能力を次第に身に付けられたり、参加・体験することの楽しさを知り、行動することで学びや気づきを得ていきながら、自分の将来に向き合うことができます。また、受講メンバーと触れ合いながら、4か月の受講終了後には発信力や関係構築力も養われています。
	到達目標 "文章表現入門ではキャリア科目の一講義として「働く意味」を理解することが目的である。 1. 自分の考えをプレゼンテーションできるスキルを習得する 2. ①自分はどういう人物なのか、②ビジネス文書と通常の文書の違いとは何か、③傾聴力と発信力とは何か、を理解する 3. 就職活動や社会において必要なコミュニケーション能力を習得する。 4. 社会が求める能力を理解し、大学生活における学内・学外の活動に繋げて人間力を高める 5. 面接の重要性と実践、自己PR実践など、就職活動において必須となる基盤づくりに取り組む。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画	
	回	テーマ
	1	オリエンテーション
	2	就職活動の進め方
	3	就職試験の概要
	4	自分を知る①ー今の自分を知るー
	5	自分を知る②ー他人から見た自分ー
	6	自分を知る③ーこれからの自分について考えるー
	7	ビジネス用語について
	8	ビジネス文書の記述方法
	9	企業から学ぶ（企業が求める人材とは）
	10	文章表現①（新聞記事を読み込んでレポート作成）
	11	文章表現②（自己PRシートの作成）
	12	自己PR実践①（模擬面接）
	13	自己PR実践②（模擬面接）
	14	自己PR実践③（模擬面接）
	15	ジョブインタビュー入門とのセッション
16	期末試験	
時間外学習の内容		
1	講義で気づいた自己課題に取り組む	
2	自分の就職希望先を調べる	
3	講義で気づいた自己課題に取り組む	
4	同上	
5	同上	
6	同上	
7	同上	
8	ビジネス文書を作成 提出	
9	講義で気づいた自己課題に取り組む	
10	同上	
11	自己PR文を作成	
12	講義で気づいた自己課題に取り組む	
13	同上	
14	同上	
15	同上	
16	同上	

実践	テキスト・参考文献・資料など テキストはありません。講義内容に必要なワークシート等を当日配布予定。
----	--

学びの手立て	<ol style="list-style-type: none"> <li>全講義において座学はなく、すべてワーク形式となっています。参加・体験することで学びや気づきを得る内容となっています。</li> <li>ワーク形式のため、参加態度が大きく関わってきます。ただ黙って座っているだけでは参加していないこととなります。居眠り、私語、ワーク不参加、携帯電話の私的使用は減点対象となります。</li> <li>遅刻は減点対象となります。講義開始30分以上の遅刻、30分以上の早退は欠席となります。</li> <li>学則として欠席5回以上は評価対象外となります。欠席の場合は欠席届けを提出すること。</li> </ol>
--------	--

評価	<p>参加型講義のため、講義内容の理解度や個人ワークやグループワーク等の参加度を評価対象とします。</p> <p>①理解度及び参加度・・・60% ②提出物（講義毎の振り返りレポート・課題、総論レポート等）の有無及び完成度・・・40%</p> <p>*参加型及び連続性のある講義のため、ワーク不参加、私語や居眠り、質疑応答の程度、遅刻等も減点対象となります。</p>
----	--

学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア入門</li> <li>・ジョブインタビュー</li> <li>・キャリアデザインA,B</li> <li>・キャリア支援課が主催するセミナーやイベントに参加</li> </ul>
-------	---